

女性メンバー4人による起業への挑戦

研究の目的

“人間アレルギー症候群”、“自分のコントロール障害”をかかえた当事者が安心して仕事を継続する条件の研究

過疎地域の中で、当事者の起業にふさわしい仕事の開発

人間アレルギーとは

- 「人間アレルギー症候群」とは、自分も含めた「人間」に対して起きる拒絶反応
- 抗原－アレルゲンと化した“人間”に接すると様々な症状が現れ、生活が困難になる
- 人と接する場面なら何処でも症状が起きている

例：電話・買物・学校・職場・家庭など、社会生活のすべて

人間アレルギー症候群の構図

人間アレルギーの根底には、地下水脈のように流れる自己否定の感情がある



自己否定の感情

<反応への今までの対処>

- 心臓がドキドキ—物に触り、話をうわの空にする
- 鼻で息が出来なくなる—息を止め、息を止めていない顔をして自然に振舞う。
- 人と視線を合わせられない—一人の目を見ない
- 人とすれ違う時に腕など触れるとゾっとする—触れた所を人に見られないように払う
- 臭いに敏感になる—息を止め、その場から離れる
- 身体のコわばり—場を離れる。大丈夫と言い聞かせる
- 頭痛がする—我慢する

“人間アレルギー症候群”の背景

- 社会の画一的な基準に自分を合わせようとする涙ぐましい努力
- 自分の価値が、人や社会の評価によって決まるという先入観
- 自分を他人に合わせ、様々な仮面を使い分けるうちに自分自身が見えなくなっていく苦勞
- 人間に対する嫌悪、人間であることの嫌悪
- 生きていることに対する肯定感の欠如
- 自分のこころや身体に対する自傷行為
- 自分の欲望や感情に対する不安や恐怖
- 自分という存在が、人を傷つけることへの不安、傷つけられる不安
- 心の根底には「人から必要とされたい」「認められたい」といった、目に見えない願望

研究の方法支援してくれる企業やベテランの家の先行的実践から起業の進め方のポイントを整理した

起業の進め方

1. 起業理念を考える
2. キーワードを考える
3. 「苦勞の先取り」と「弱さの情報公開」
4. 事業内容を決めるー自分の体験、趣味、こだわり、特技、病気・・・何でも活用
5. 三度の飯よりミーティングの具体化

起業のキーワード

- 「女性」
- 「病気」
- 「過疎」
- 「金欠」

起業理念

「虚しさを絆に」

「身体とところに優しい会社づくり」

「いつでも廃業」

「期待されない会社づくり」

「命がけの苦勞の体験」が資本

「安心してサボれる・潰れる・通える 語れる」会社づくり

社名決定！

「むじゅん社」

「世界の本質は“矛盾”である

“矛盾”があるから世界が発展する」

G・ヘーゲル

「苦勞の先取り」と「弱さの情報公開」

- 完全にマイナスの“お客さん”にジャックされる！
- 人付き合いで、苦勞する
- 被害妄想がくる
- 辛くなったらお酒に依存する
- いつの間にか、孤立する
- 自分の感情を見せないようにしてアップアップになる

→ それで順調！！

事業の内容

- ・ 音楽C Dの作成
- ・ ビデオの作成
- ・ 翻訳・通訳
- ・ 出版
- ・ データ入力
- ・ 研修の企画
- ・ 安心グッズの企画・販売
- ・ 音楽C Dの作成出版

安心してサボれる職場づくり

自らの経験を活かした職場づくり

個人の体調に合わせた仕事やローテーション

「指図や指導」から「励ましと協力」の関係作り

対等な関係

「手を動かす」より「口を動かす」

みんなで経営一情報の公開と参加

競わない、張り合わない

弱さの情報公開





15-6449-94
PUNCH'N'GLOVE

15-6449-94
PUNCH'N'GLOVE

PUNCH'N'GLOVE
ありのまま

分科会 3

自分のコントロール障がい

15:15	座長のあいさつ・問題提起	16:20	後半課題
15:20	課題者3人の自己紹介・あいさつ	橋元計画 せいのし社	
15:25	課題者の発表	人間宣言 人格障がい 支援委員会 決起委員会	
1. 加藤木 希子	10分 質問応答 5分	「これでも生きて委員会」 by. 文芸春秋	
2. 吉井 浩一	10分 質問応答 5分	16:30	
3. 山本 眞代	10分 質問応答 5分	会場の音を変えてトーク	
16:10	休けい 10分 9:00-16:10		



嫌われショウコの一生

一見捨てられ不安のコミュニケーション

加藤木 祥子

自分のコントロール障害
魔性の女系 幸せ壊しタイプ







